

令和2年12月10日

洞爺湖町議会令和2年12月会議  
教 育 長 行 政 報 告

番 号 件 名

- 1 本町保育所と入江保育所の統合移築に係る移築先の見直しについて
- 2 新型コロナウイルス感染症に関する対応等について（その10）

## 1 本町保育所と入江保育所の統合移築に係る移築先の見直しについて

本町保育所と入江保育所の統合移築につきましては、移転先を虻田小学校とし、余剰教室の活用により新あぶた保育所を運営することで令和元年度に方向性を決定し取り組みを進めていましたが、「ポストコロナ期における新たな学びの在り方」として国において小中学校の少人数学級実現に向けた動きが出てきている状況にあり、現在、決定している計画をそのまま進めた場合、今後、国において本格的に少人数学級実現へ動き出したとき、活用すべき空き教室がない状態となり、校舎の増築により教室を確保する必要に迫られるなど、新たな課題が出てくることが想定されます。

虻田小学校への統合移築は、同校の学校運営に支障がないことが大前提のうえに決定しているものであり、国の今後の動向が見えてきている状況にあっては、虻田小学校の学校本来の機能の維持向上を優先すべきであって、かつ、今後、国から打ち出される少人数学級実現に向けた施策に迅速に取り組むには、空き教室を確保することが必要な状況と判断すべきに至ったところです。

このことから、教育委員会としましては統合移築先に決定している虻田小学校を見直すにあたり、「ポストコロナ期における学びの在り方を踏まえた新あぶた保育所建設の基本方針」を策定して検討を進め、「健康福祉センター」と「地域交流センター」と「あぶた読書の家」に囲まれた町有地である「みんなの森公園付近」を新たな統合移築先の候補地として選定しました。

今後におきましては、保育所入所児童の保護者をはじめ町民皆様への説明会を開催し、理解を深めながら進めてまいります。

なお、本年度予算において、虻田小学校へ統合移築として基本設計業務に係る費用を計上しておりましたが、統合移築先の見直しにより減額の補正予算案を本議会に提案しておりますので、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

## 2 新型コロナウイルス感染症に関する対応等について（その10）

新型コロナウイルス感染症に関する対応等について、次のとおり報告いたします。

### (1) 学校行事及び保育所行事の対応について

北海道新型コロナウイルス感染症対策本部は、北海道内の11月以降の新規感染者数の急増などを踏まえ、警戒ステージを「ステージ3」に引上げ、また、急激な感染拡大をしている札幌市は「ステージ4相当」として、11月7日から27日までを集中対策期間として取り組みが進められてきましたが、感染拡大の勢いが止まらないことから、集中対策期間を12月11日まで延長し、更なる感染拡大防止対策が実施されています。

道内の学校においても児童生徒等の感染事例が全域に急増しており、感染症対策の更なる強化と徹底が求められており、町内の小中学校から感染者を出さないよう、

「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～『学校の新しい生活様式』～」に基づいた基本的な感染症対策の徹底などを図っているところですが、これら対策の外、以下の学校行事についても原則、見合わせをすることとし、期間は各小中学校の2学期の終業日までとしていますのでご報告いたします。

- ① 学校職員が参加する各種会議等
- ② 保護者の来校による各種行事等
- ③ 外部講師を招いての各種行事等
- ④ その他、必要性や緊急性のない各種行事や各種会議等

※ 事情により実施の必要性のある場合については、この限りではないが、感染症対策を万全とすること。

各保育所の行事についても、小中学校の行事と同様の対応をすることとし、期間を12月末までとしていること、また、中学校の部活動については、12月13日まで活動を見合わせていますので併せてご報告いたします。